

美里町トンネル個別施設設計画



令和 7 年 3 月

美里町

目次

1 道路施設の現状と課題

- (1) 市町村名の道路概要
- (2) 市町村名のトンネル概要

2 道路施設のメンテナンスサイクルの基本的な考え方

- (1) 道路施設のメンテナンスサイクルの基本的な考え方

3 今後の点検・修繕計画

- (1) 点検計画期間
- (2) 対策の優先順位の考え方
- (3) 施設の状態・対策内容・実施時期・対策費用

1 道路施設の現状と課題

(1) 美里町の道路概要

熊本県美里町では、1級市町村道堅志田線ほか12路線24.644km、2級市町村道八幡道線ほか28路線57.107km、その他市町村道坂貫線ほか343路線218.615km、合計300.636kmを管理しています。

(2) 管内のトンネル概要

美里町のトンネル概要

本町が管理するトンネル数は、6トンネルあります。

2 道路施設のメンテナンスサイクルの基本的な考え方

(1) 道路施設のメンテナンスサイクルの基本的な考え方

インフラは、利用状況、設置された自然環境等に応じ、劣化や損傷の進行は施設ごとに異なり、その状態は時々刻々と変化します。現状では、これらの変化を正確に捉え、インフラの寿命を評価することは技術的に困難であるという共通認識に立ち、インフラを構成する各施設の特性を考慮した上で、定期的な点検・診断により施設の状態を正確に把握することが重要です。

このため、トンネルの点検については、定期点検要領に基づき、5年に1度、近接目視による点検を実施し、結果については、4段階で区分することとしています。

区分		状態
I	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態
II	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講すべき状態
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講すべき状態

個別施設計画策定にあたって、基本方針として、管内にあるトンネルは生活道路の施設として重要な位置づけであることから、持続可能なメンテナンスサイクルにより管理を行い、新技術等の活用を検討し、事業の効率化やコスト縮減を図ります。

また、今後 5 年間、管理する 2 つのトンネルにおいて新技術を活用し、従来技術の場合と比較して約 50 万円の点検費用縮減を目指します。集約・撤去については本町において、6 箇所のトンネルを管理しているが、いずれも主要幹線道路に位置づけられており、近接する迂回路等もなく、現時点では集約化・撤去はできないと考えています。しかし、今後当該トンネルについて利用状況などを勘案し、将来的な廃止も含めた検討を行う。

3 今後の点検・修繕計画

(1) 点検計画期間

5 年に 1 回の定期点検サイクルを踏まえ、点検間隔が明らかとなるよう計画期間は 10 年とします。

なお、点検結果等を踏まえ、毎年度、計画を更新します。

(2) 対策の優先順位の考え方

点検結果に基づき、効率的な維持及び修繕が図られるよう必要な対策を講じます。

トンネルの対策は、第三者に対する安全性に著しく影響を及ぼし、緊急的に対応が必要な損傷があるトンネルを優先的に実施します。

速やかに補修を行う必要がある区分「健全度Ⅲ」と判定したトンネルについては、損傷個所数や損傷程度を考慮し、優先的に対策を実施します。

(3) 対象施設、個別施設の状態（健全度）、実施時期、対策内容

美里町管内における対象施設、個別施設の状態（健全度）、実施時期、対策内容、概算の費用については別表のとおりである。